

令和2年度 第1回 吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会 議事概要

開催日（書面会議） 令和2年（2020年）12月11日（金）

実施方法 メールによる意見聴取（令和2年12月18日（金）までに意見・質問をメールで提出）

出席委員 春藤副市長（委員長）、辰谷副市長（副委員長）、清水危機管理監、小西総務部長、
稲田行政経営部長、中川税務部長、高田市民部長、小林理事、井田都市魅力部長、
岡松理事、中野児童部長、大山福祉部長、前村健康医療部長、岡健康医療審議監、
中嶋環境部長、乾都市計画部長、伊藤理事、舩木土木部長、松本理事、柳瀬下水道部長、
笹野消防長、山村水道部長、山下学校教育部長、大江教育監、木戸地域教育部長

- 案件**
- 1 進捗評価（検証）方法について
 - 2 令和元年度進捗評価（検証）について
 - 3 吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間延長等について

主な意見、質問等の内容

【案件2について】

○委員 参考資料1の4ページ、基本目標4（1）①『生涯活躍のまち』（健都版CCRC）の取組の「今後の取組予定」のうち3つ目の、「プラットフォームの構築」については、健都における産学官民の連携を促進し新たなサービス・産業を創出するとともに、健都ならではの健康づくりに結び付く取組であり、1ページの基本目標1（1）①「健康・医療産業の創出」にも記載すべきと考える。また、資料2の該当箇所である基本目標1（1）「北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成」及び基本目標4（1）「健康・医療のまちづくりによる健康寿命の延伸」の令和2年度の主な取組予定にも記載すべきである。

資料2の基本目標3（3）「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」の令和元年度の主な取組状況については、切れ目のない支援として不妊治療費助成のみを挙げるのではなく、他の支援も記載すべきではないか。

○事務局 委員の指摘のとおり記載する方向で、健康まちづくり室と調整する。

○委員 参考資料1の5ページ、基本目標4（2）①『地域包括ケアシステム』の構築」及び③「介護予防・認知症予防の推進と高齢者を見守り支える地域づくり」について、新型コロナウイルス感染症の影響で取組を中止したという理由で、評価をAからBに下げているが、できる範囲の取組は行っているので、評価を下げる必要はないのではないかと。

○事務局 所管である高齢福祉室と調整する。

○委員長 資料2の基本目標2（1）「都市魅力の強化と戦略的な情報発信」について、令和元年度の取組状況に「すいかレ2021実施」とあるが、実施したのは令和2年度ではないか。また、令和2年度の主な取組予定にある「シティプロモーションビジョンの改訂」は令和3年度ではないか。

全体的にいつ時点の内容として記載しているのか分かりにくい。既に実施しているものや、令和

2年度に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期したものの「取組予定」となっている箇所があるので、現状が分かるように記載すべきである。

○事務局 令和元年12月から「すいかレ」の写真募集を開始していたため令和元年度の取組に記載しているが、そのことが分かるよう改める。そのほかの箇所についても、改めて記載内容を確認し、所管と調整の上、修正する。

【案件3について】

意見なし。